

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

50代くらいの男性（物腰は柔らかく、親切、丁寧な印象。笑顔もあり、フレンドリーな印象）

2. 通訳ガイド

30代くらいの女性（落ち着いた、清楚な印象）

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

日本の迎賓館は、赤坂にあり、東宮御所として1909年に造られました。紀州・徳川家の壮大な屋敷があった場所に建築されました。建築にあたっては、当時の一流の建築士や美術専門家らの総力を結集されました。建築様式としては、西洋のネオ・ロマネスク（→ネオ・バロックかも知れません）。

※お恥ずかしながら、私自身の「迎賓館」自体に対しての理解が欠落していたこともあり、上記の「ネオ・ロマネスク vs ネオ・バロック」に象徴されております通り、上記の記述内容自体、かなり、あやしいというのが正直なところです。

《自分の解答》

“In Japan, Geihin-kan, welcome place for ambassador purpose, was built in 1909 in Akasaka, Tokyo. It was built on the ground of magnificent feudal load mansion of Tokugawa family in Kishu. All the efforts by 1st class architects and art specialists in those days had been made. The architecture style was called “Neo-someshing”. Sorry, I could not catch the word. That’s all. Thank you very much.

概ね、こんな感じです。まず、上記の通り、迎賓館に対しての理解不足もあり、日本語の聞き取り時点で、要点・キーワードが十分に聞き取れていなかったと思います。また、冒頭の迎賓館も、後で調べて、“state guest house” と言えればよかったところ、上記のような「かなり苦しい」意識で、また、最後に、「ネオ・ロマネスク vs ネオ・バロック」のところも、メモで「ネオ」まで書いたところでスタート（後で記憶でカバーするつもり）し、実際に訳す際に、記憶が飛んで、上記のような、かなり間抜けな終わり方になってしまいました。試験が全て終わった時点での振り返り自己採点としては、3~4割という、かなり残念な結果でした。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 振袖
- ② 和紙
- ③ (①、②を見たところで、「和紙」に即決。③も見たとは思いますが、覚えておりません)

《選択したトピック》

『和紙』

《発表した内容》

I'd like to talk about Washi, the Japanese traditional hand-made paper. Washi was added to UNESCO's World Heritage list in 2012. (→2014 の間違いでした) Washi is used for Indian ink calligraphy, called Shodo in Japanese. It is used for interior in the Japanese traditional house as well. One example is Fusuma, sliding door. Fusuma is made of wooden frame and Washi. Fusuma divide a room into two or three. It is also used for folding fan, Sensu in Japanese, one of the traditional crafts in Japan. (→ここで、もしもの時にスーツの胸ポケットに入れておいたセンスを取り出し、図柄の方を向けて、お見せしました。その際、NS: Oh, you have one. と、多少びっくりされていたようですが、笑顔で反応され、且つ、NS: Very nice. とおっしゃいました) It might be a good idea to buy folding fans as souvenirs for tourists from abroad. Also, I personally send Christmas cards made of Washi to my friends living in foreign countries. They are fond of receiving Washi Christmas cards.

このあたりで、ちょうど時間になったようで、自分で切り上げるということなく、Q&Aに入っていました。

5. 質疑応答について

NS	Where can I buy a Washi Christmas card?
I	I'm sure large stationery stores have Washi Christmas cards. But I recommend Itoya in Ginza. Itoya is in 6 or 7 storied-building and really a large shop. They have a variety of Washi cards.
NS	Other than Christmas cards, there must be other kinds.
I	Yes. There are other kinds, like.
NS	Birthday, Anniversary..

I	Wedding..
NS	OK. That's good to know.
NS	Why do you want to be a guide? And what kind of guide do you want to be?
I	I personally like to travel and I have visited more than 20 countries. During the travel, I have had a lot of helps and supports and I still remember them. I would like to get what I have received to visitors from abroad. And when I become a guide, of course, I want to be a good guide by answering all the questions. But, moreover, I want to be a good ambassador and entertainer. By entertaining foreign visitors, I would like to let them leave with big smile and make them repeaters.
NS	OK. That's good. このあたりで、日本人試験官が外国人試験官に時計を見せられ、下記のご挨拶で終了、退室。
NS	Thank you very much. That's all.
I	Thank you so much. I really enjoyed today's interview.

6. 試験を終えての感想

最初から最後まで、テンポよく、詰まることなく、外国人試験官とのインタラクティブなコミュニケーションを図れたと思います。日本人試験官は、入室時のご案内と通訳パートのガイダンス、及び通訳分の読み上げ以外では、ご発言されることはありませんでした。また、表情もほとんど変えられることもありませんでしたので、こういった印象を持たれたか等については、わからないというのが正直なところです。

パート別に、改めて総括させていただきますと、通訳パートが不本意な出来で、それ以外のプレゼンテーション、Q&Aは、スムーズに出来たと思っております。

全体を通じて個別に気になった点を改めて挙げてみますと、①通訳パートの全体の出来、②プレゼンテーションで、和紙の世界遺産の登録年を2014年のところを2012年と言ってしまったこと、③和紙の使われ方の例として、扇子を持ち出して、ご説明したこと（→外国人試験官は、笑顔で反応され、ポジティブであったと信じておりますが、日本人試験官の方は、反応がほとんどなかったため、気になる点に挙げました）、等です。試験を終えて改めて振り返ってみますと、準備としてやるべきことは全てやれたなど再認識しております。プレゼン、Q&A等、スムーズなやり取りができたのも、先生方のご指導のおかげだと思っております。